



橋北中学校だより

令和7年3月5日(水)
第11号 文責:奥田
津市立橋北中学校

600人のダンスバトル

3年生にとって、卒業まで登校するのが残り11日となった2月26日(水)、3年生を送る会「三送会」を行いました。本校は卒業式に参加する在校生は2年生と1年生の代表です。今日が、3つの学年が一堂に会する最後の機会となりました。

会の中で3年間を振り返るビデオが流れましたが、入学した2022年はまだまだコロナの影響があり、体育祭は学年ごとで行われ、入学式や文化祭ではほとんどの生徒がマスクをしている状況でした。そんな制限の中、始まった中学校生活でしたが、三送会ではそんなときがあったことを忘れさせるように全校生徒が一つになって歓声をあげ、体を揺らし、惜しみなく拍手を送る素晴らしい時間となりました。

昨年の三送会で、体育の授業で取り組んできたダンスを全校で行うサプライズを計画してくれました。今年はグレードアップし、授業でも行ってきたダンスバトルで卒業生、下級生、先生が争い、互いにエールを送り合いました。

ダンスの授業となると、運動や表現することが苦手な人には決してハードルの低いものではありません。「できないこと」、「分からないこと」を学級やグループの中心に置いて、本校は学びを進めています。「できないこと」に対して引け目を感じるのではなく、それをみんなが認めながら学び合っていくのが橋北中の目指すところです。今日、ステージに上がってくれた人たちはこの場ならば、この雰囲気の中でならばやれる!そんな思いをもって演じてくれたのではないのでしょうか。

この日の600人ダンスバトルは体育の授業だけでなく、これまでの取り組みの集大成であると思います。お互いの距離を縮め合って、ハイタッチをしたり、声援を送ったり、一緒に見合いながら体を揺らしたり、みんな一体感を感じ、楽しいときを過ごすことができたのではないのでしょうか。そして何より会場を盛り上げてくれたのは卒業生のみんなでした。そんな卒業生の思いや姿を下級生は確実に受け取ってくれたと思います。



校内花植えボランティア活動

今年度4回目の花植えボランティア活動を2月21日(金)、学年末テストの最終日に実施しました。この日は3年生が奉仕作業と重なり(去年から毎回参加してくれている3年生の生徒もいたんですが)、1・2年生のみでの実施となりましたが、総数113名もの生徒が参加してくれ、200株以上のパンジー、ビオラ、サクラソウの花を植えることができました。花の苗は美里にある亀井園芸さんが毎年、小中学校等に無料で提供していただいているものです。11月に植えた花が今年は寒さでなかなかうまく育っていなかっただけに、新たに植えることで、卒業式の会場を華やかに彩ってくれることと思います。誰かのためになる、誰かが喜んでくれる活動、大切にしていきたいです。



学校評価アンケートについて

11月に行いました学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。昨年度よりアンケートの内容を、4月に行われた全国学力・学習状況調査の生徒質問紙(以下、質問紙)に合わせたものとしています。そのことにより、質問紙での結果をもとに生徒の強みや課題を分析し、日々の授業や取り組みを見直すことができ、半年間の生徒の変容を確認することができました。また、2月21日に開催した第3回学校運営協議会において、アンケートをもとに行った学校自己評価について熟議を行いました。

学校日より6号でお伝えした、本校の気になる項目について、まとめましたのでご覧ください。

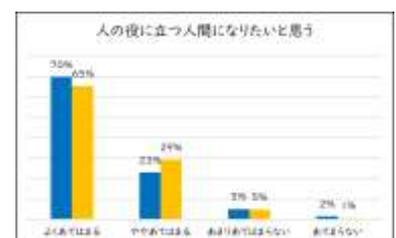
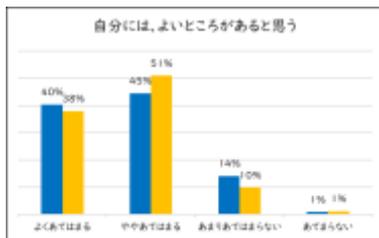
なお、学校評価アンケートの集計については本校ホームページ「生徒・保護者専用」に掲載いたしました。

生徒アンケート (3年生の4月から11月の変容に注目)

4月3年

11月3年

【自尊感情・自己有用感の涵養】



自分にはよいところがあると思うと肯定的に回答した生徒が増えています。今後も教師が生徒の活動を「意味づけ・価値づけ」し、人の役に立つ人間になりたいと考える生徒を日々の授業や学校行事、地域活動への参加・参画を通して生徒の自尊感情・自己有用感を育みたいと考えています。

【学び合う授業の推進】



自分の考えと違う他者と学ぶこと、自分の考えを深めたり、広げたりすることに楽しさを感じている生徒が増えています。「聴きあう関係」を大切に「学び合う授業」を通して、学力の向上だけにとどまらず、他者に考えを伝える力や、共生する力を育みたいと考えています。

【探求的な学習】

今年度は探求的な学びにも力を入れました。3年生は「平和学習」、2年生は農業体験を通じた「地域創生学習」、1年生は「現場学習」や大学から講師を招いた「数学の探求的な学び」に取り組み、自ら問いを立て、課題を解決するというプロセスを大切に活動しました。3年生のアンケート結果からは、充実した探求学習に取り組めた生徒が増えた反面、中には探求的な学びに難しさを感じ、探求的な学びの中に入り切れなかった生徒もいたことが分かりました。この結果を真摯に受け止め、引き続き「問い」の中を生きることが出来る生徒を育みます。学んでいる子は崩れません。



【いじめを許さない学校風土の醸成】

4月の結果を受け、全職員で課題意識を持ちながら様々な活動の中で「いじめは絶対に許さない」ということを伝えてきました。三重県が定めるいじめ防止強化月間には、生徒会が中心となって「ピンクシャツ運動」を行い、1年生では弁護士先生を招いての「いじめ防止授業」を行いました。今後も教育活動全体を通して「いじめは、どんな理由があってもいけない」と考える生徒が100%になることを目指し、「いじめを許さない学校風土の醸成」に努めます。



【保護者アンケート】(保護者と生徒の比較から)

保護者アンケートと生徒アンケートを比較し、2項目の肯定的意見の差に着目しました。「子どもは、将来の夢や目標を持っている」では7ポイント、「子どもは、人の役に立つ人間になりたいと思っている」では17ポイント、保護者の肯定的意見は生徒の肯定的意見を下回っています。学校や日頃の生徒の思いを保護者の皆様にもご理解いただくことは大切なことだと考えています。そのような中で約85%の方が、年間1回以上授業参観や学校行事に参加しているご回答いただきました。我々としては、さらに学校での様子が伝わるよう、通信やHP等を充実させていかなければならないと考えています。そして、今回の結果では「気兼ねなく電話をかけたり行けたりする学校である」と肯定的にとらえていただいている方は70%にとどまりますが、100%を目指して、保護者の方が安心してお子様を預けられる学校を目指します。